

(4) 色彩計画の考え方

建築物等の外壁などの色彩は、景観形成に大きな影響を与えるため、色彩をコントロールすることは良好な景観を保全・形成していく上で重要です。

前述の景観形成基準の解説の中では、建築物等の色彩について基本的な考え方のみを解説していますが、ここでは建築物等の色彩計画において検討する色について、正確かつ客観的に表すため、『マンセル表色系』を採用し、おすすめの色や地域にふさわしくない色の目安を一般地域の各ゾーン及び景観形成重点地区別に示しています。

マンセル表色系について

一般的に色彩は、赤や青、黄などの色名で表しますが、色名の捉え方には個人差があり、ひとつの色を正確かつ客観的に表すことはできません。このため、本ガイドラインでは、JIS（日本工業規格）などにも採用されている国際的な色彩の尺度である「マンセル表色系」により、色彩の目安を示しています。

「マンセル表色系」は、色彩について「色相」「明度」「彩度」の3つの尺度を組み合わせて表します。

●色相（いろあい）

色相は、10種の基本色である赤（R）、橙（YR）、黄（Y）、黄緑（GY）、緑（G）、青緑（BG）、青（B）、青紫（PB）、紫（P）、赤紫（RP）を表し、それを10等分します。10色相のアルファベットとそれぞれの段階の数字によって、5Rや5Yなどのように表記します。

●明度（あかるさ）

明度は、明るさの度合いを0～10までの数値で表し、暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなります。

●彩度（あざやかさ）

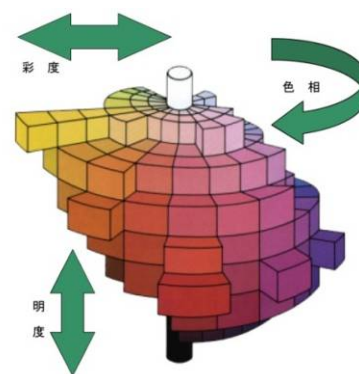
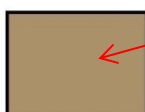
彩度は、鮮やかさの度合いを0～14程度までの数値で表し、色味のない鈍い色ほど数値が小さく、黒、グレー、白などの無彩色の彩度は0となります。逆に鮮やかな色ほど数値が大きく、例えば赤の原色の彩度は16程度となります。

●マンセル値

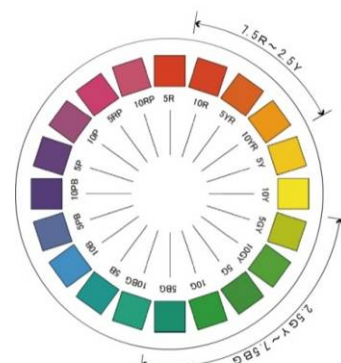
色彩の3属性を組み合わせて表記する記号で、下記のように読みます。

5YR 6 / 4

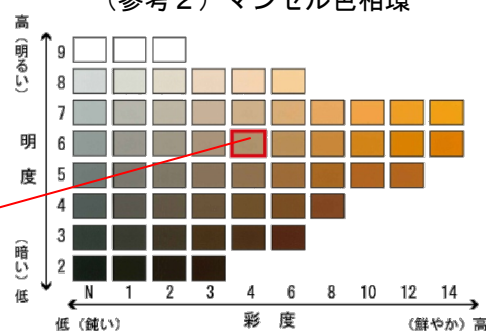
5ワイアール 6 の 4
（色相） （明度） （彩度）



（参考1）マンセル色立体



（参考2）マンセル色相環



（参考3）マンセル色標（5YR）

推奨色等の設定対象について

「建築物の外壁と工作物の外観の基調色」、「屋根の基調色」、「外壁・屋根・工作物外観のアクセント色」を対象とし、マンセル表色系を用いて使用することが望ましい色彩の範囲を設定しています。

●基調色

基調色は、外壁の各面、屋根の各面、工作物外観の各面のうち、 $\frac{4}{5}$ 以上の面積を占める色を指します。建築物の色彩の大半を占める基調色は、景観形成に大きな影響を与えます。推奨色の範囲の色を参考にしつつ、実際に周辺のまちなみや自然の中で使われている色彩について十分に確認した上で違和感のない色を選択する必要があります。

●アクセント色

アクセント色とは、外観に変化をつける役割などで用いるもので、その使用面積は外壁各面・屋根各面・工作物外観各面のそれぞれ $\frac{1}{5}$ 未満の面積とします。

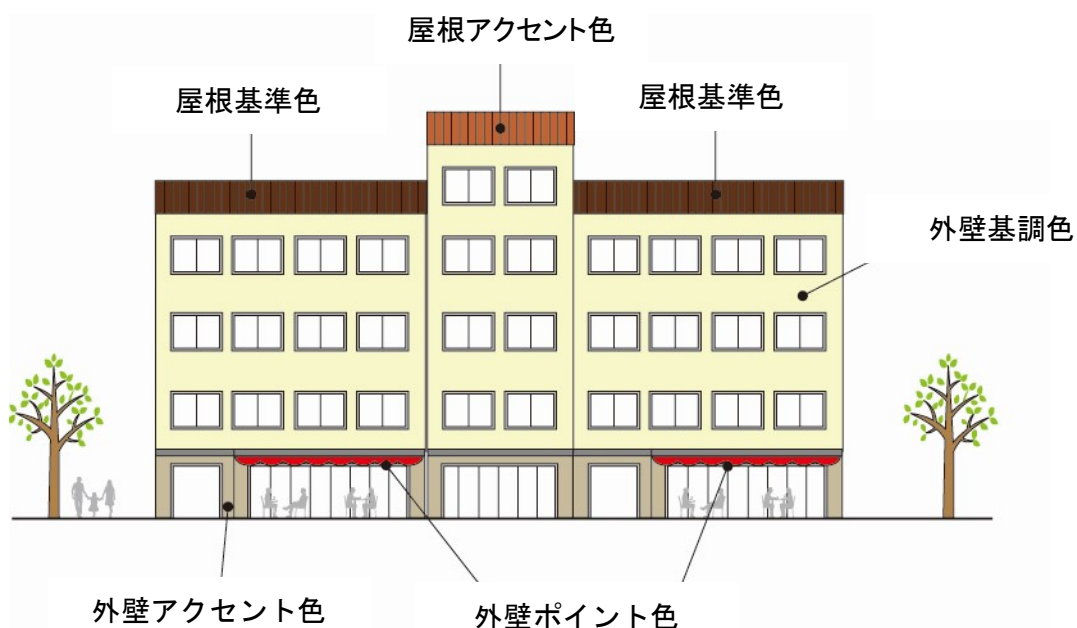
基調色との調和に十分に配慮し、アクセントが過剰とにならないよう留意しましょう。

アクセント色は建築物の魅力をより高める効果を期待して使用するものであり、必要以上に多くの色を用いるとまとまりのない景観となってしまいます。できる限り色数を絞り、建物全体の印象が崩れてしまわないよう工夫しましょう。

●ポイント色

建物の外観デザインのワンポイントとして用いるもので、その使用面積は外壁・屋根・工作物外観における各面のそれぞれ $\frac{1}{20}$ 未満の面積とします。

アクセント色と同様、基調色との調和に配慮し、色の多用は避けるよう工夫することが必要です。



山地・丘陵地ゾーン

◇色彩の現況と色彩の選び方のポイント

自然の色

緑豊かな山地、丘陵地においては、深い緑系を中心に、黄緑（GY）系と緑（G）系の色相が景観の大半を占めています。これらの色彩を阻害しないよう配慮する必要があります。



10GY4/5

5GY4/4

5BG6/1.5



10GY3/4

5GY6/6

5Y5/5



10GY4/5

5GY7/10

5Y8/2

特徴的な景観を構成する色（建築物・工作物等）

深い緑の樹林地を背景に比較的彩度の高い赤瓦の屋根の住宅群がよく見られます。地域色を大切にしながら、周辺の自然景観との調和に十分に配慮しましょう。



10R5/7

N9

5GY4/2



10Y8/2

5GY2/2

10R4/7



5R5/2

5YR3/4

10Y6/1

周辺景観と調和している色（建築物・工作物等）

特徴的な風土色と合わせた色彩を採用している建物も比較的多く見られます。伝統的な様式の建物と新しい建物とが良好に共存できるよう、伝統的な色彩を大切に、新しいまちなみづくりにも生かしていくことがポイントです。



10R4/4

10R2/2

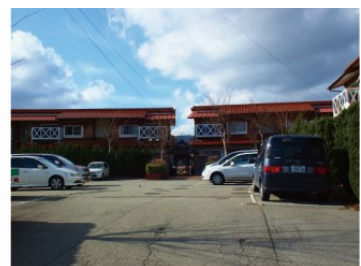
10GY2/2



5R3/6

5GY9/0.5

5YR4/5



5R3/6

5Y8/1.5

10R2/2

◇推奨色の設定

外壁は、山並みの深い緑色となじむ、赤、黄赤の色相の低中彩度、黄、黄緑の低彩度の範囲とし、屋根は赤、黄赤の低明度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲を推奨色とします。

下の色見本は、推奨色の中から本ゾーンの景観形成にふさわしい色相の一例を紹介しているものです。

外壁の推奨色

外壁及び工作物外観の各面の 4/5 以上を占める基調色の推奨色です。



屋根の推奨色

屋根の面の 4/5 以上を占める基調色の推奨色です。



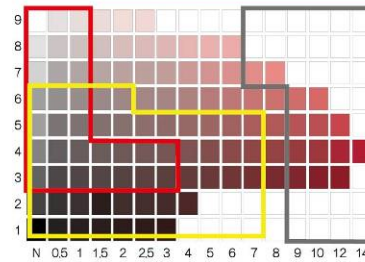
アクセント色の推奨色

外壁・屋根・工作物外観の各面の 1/5 未満で用いるアクセント色の推奨色です。

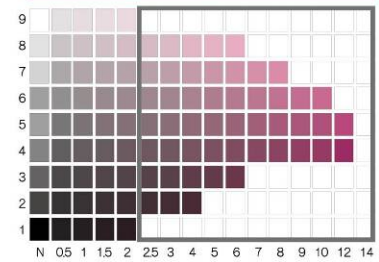


◇色相別の推奨色等範囲のイメージ

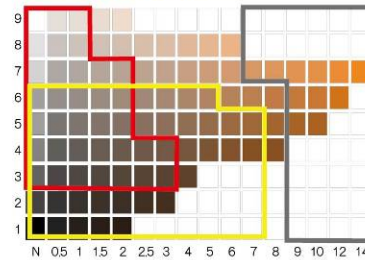
赤 (R) 系の色相



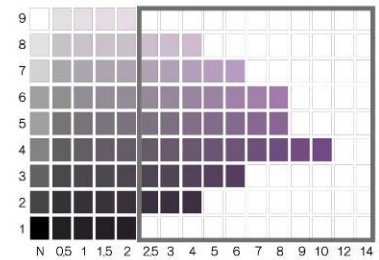
赤紫 (RP) 系の色相



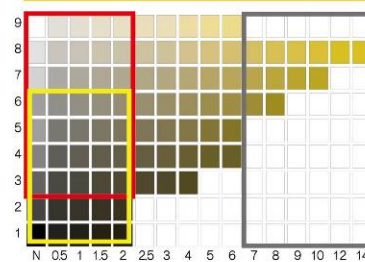
黄赤 (YR) 系の色相



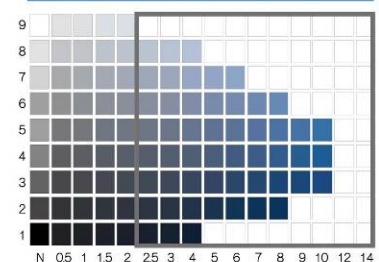
紫 (P) 系の色相



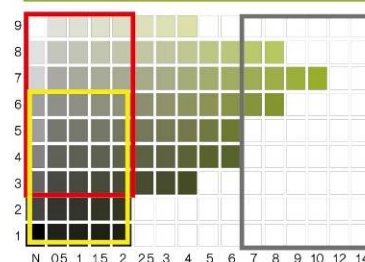
黄 (Y) 系の色相



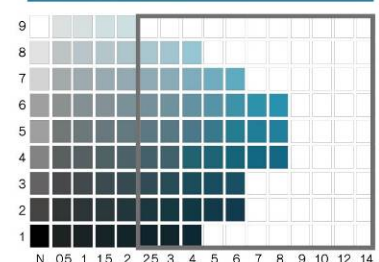
青紫 (PB) 系の色相



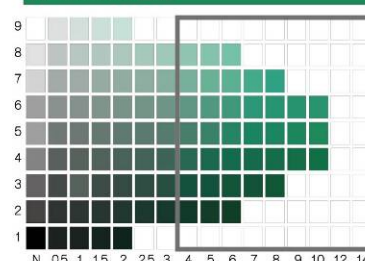
黄緑 (GY) 系の色相



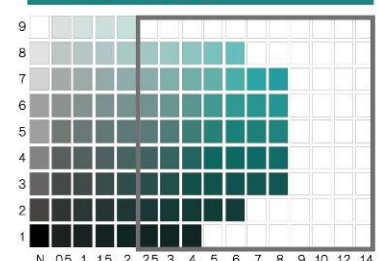
青 (B) 系の色相



緑 (G) 系の色相



青緑 (BG) 系の色相



凡例	外壁 「推奨色」範囲		「避けるべき色」 の範囲		※上のパレット では各基本色 の色相 5 のみ を掲載してい ます。
	屋根 「推奨色」範囲		※いずれにも該当しない色に ついてはアクセント色とし ての使用が可能		

田園・集落地ゾーン

◇色彩の現況と色彩の選び方のポイント

自然の色

田園・集落地ゾーンでは、春や夏は黄緑（GY）系、秋は稲穂の黄（Y）系と、季節により景色の大半を占める色相が変化する特徴があります。どちらの色相にも調和するよう工夫する必要があります。



特徴的な景観を構成する色（建築物・工作物等）

山地・丘陵地ゾーンと同様に、赤瓦の屋根の住宅群がよく見られます。特徴的な景観を保全しつつ、実際に使用されている色彩を参考に、背景の山並みや前景の田園風景になじむよう配慮しましょう。



周辺景観と調和している色（建築物・工作物等）

伝統的な様式の建築物に関わらず、風土色と合わせることが重要です。落ち着いた色彩を選択し、木や土、石などの自然素材を用いることも調和のポイントです。



◇推奨色の設定

外壁は、黄緑色から黄色と季節によって変化する田園景観の色となじむ、赤、黄赤、の低彩度の範囲とし、屋根は赤、黄赤の低明度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲を推奨色とします。

下の色見本は、推奨色の中から本ゾーンの景観形成にふさわしい色彩の一例を紹介しているものです。

外壁の推奨色

外壁及び工作物外観の各面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



屋根の推奨色

屋根の面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。

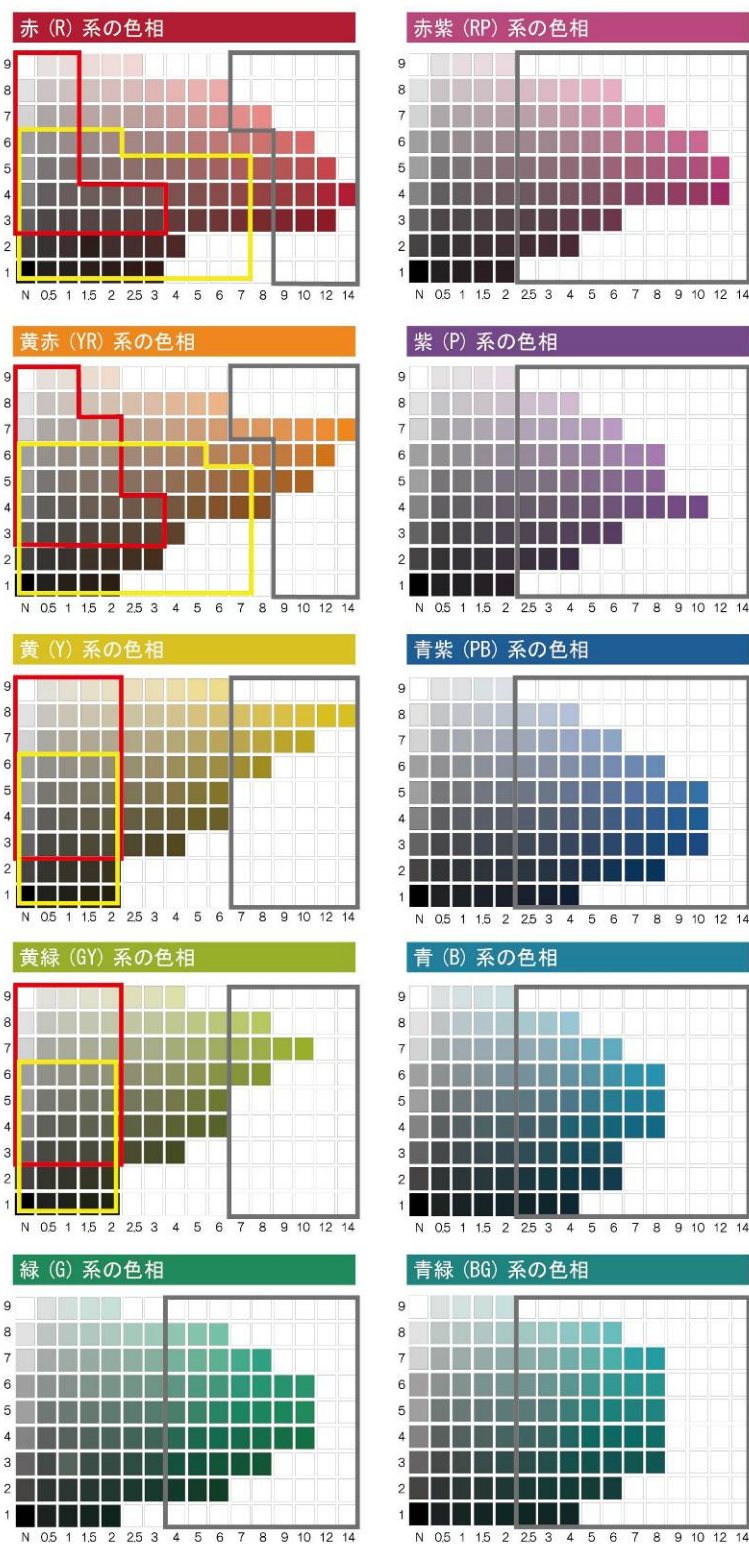


アクセント色の推奨色

外壁・屋根・工作物外観の各面の1/5未満で用いるアクセント色の推奨色です。



◇色相別の推奨色等範囲のイメージ



凡	外壁 「推奨色」範囲		「避けるべき色」 の範囲		※上のパレット では各基本色 の色相5のみ を掲載してい ます。
例	屋根 「推奨色」範囲		※いずれにも該当しない色に ついてはアクセント色とし ての使用が可能		

市街地ゾーン

◇色彩の現況と色彩の選び方のポイント

自然の色

遠景の山並みや季節により色を変える街路樹など、自然の美しい色彩を阻害しないよう、落ち着いた基調色を用いることがポイントです。



10GY3/6



5Y6/8



5GY5/6

5GY6/5

5GY7/7

5Y6/3

10B6/5

5G2/2

5R3/8

商業系景観を構成する色（建築物・工作物等）

商業系のまちなみは、低層部分においてにぎわいを演出することが重要ですが、明度の高い色彩はポイントとして使用する程度とし、街路樹や通り全体の雰囲気との調和による魅力向上に配慮しましょう。



10Y8/2.5

10YR6/2.5

5R3/8



N9

10YR8/4

5R4/9



5GY9/2

10Y2/1

5GY8/4

住宅系景観を構成する色（建築物・工作物等）

隣接する住宅の色彩や背景の山並みとなじむ色彩を選択し、通りの景観にある程度の統一感が図られるよう配慮しましょう。新興住宅地等では、インターロッキング等の既存の施設との色彩の調和にも配慮することもポイントです。



5R2/1

5YR8/6

5Y4/4



5BG4/1.5

5Y7/3

10GY8/1.5



5BG2/2.5

10GY6/2.5

10GY3/5

◇推奨色の設定

外壁は、自然の色と既存市街地の色のどちらにもなじみやすい、赤、黄赤の色相の低中彩度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲とし、屋根は赤、黄赤の低中彩度・低明度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲を推奨色とします。

下の色見本は、推奨色の中から本ゾーンの景観形成にふさわしい色相の一例を紹介しているものです。

外壁の推奨色

外壁及び工作物外観の各面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



屋根の推奨色

屋根の面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



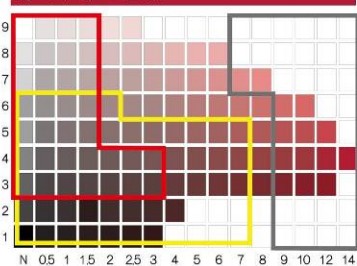
アクセント色の推奨色

外壁・屋根・工作物外観の各面の1/5未満で用いるアクセント色の推奨色です。

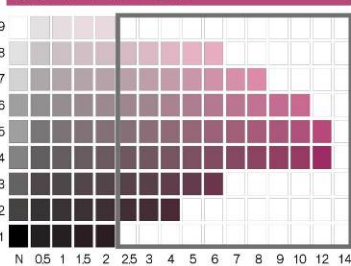


◇色相別の推奨色等範囲のイメージ

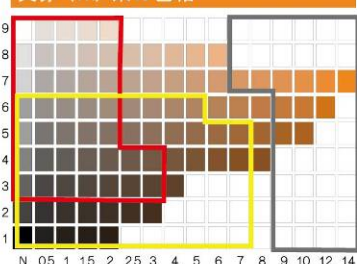
赤 (R) 系の色相



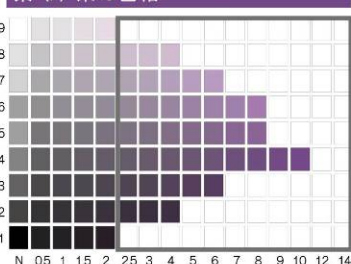
赤紫 (RP) 系の色相



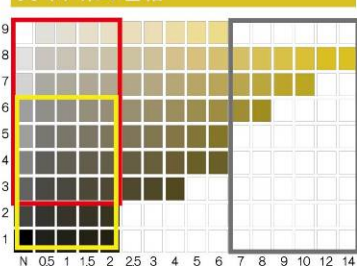
黄赤 (YR) 系の色相



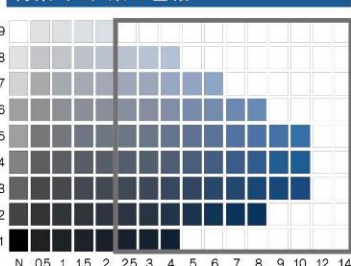
紫 (P) 系の色相



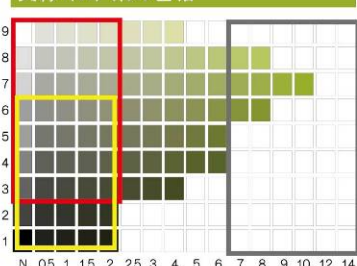
黄 (Y) 系の色相



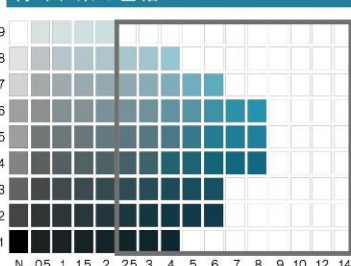
青紫 (PB) 系の色相



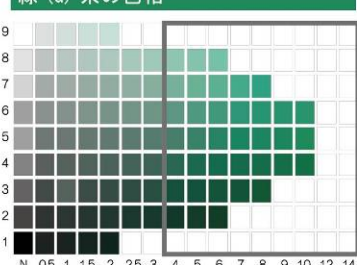
黄緑 (GY) 系の色相



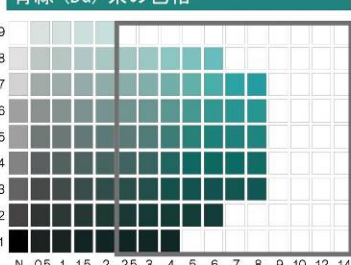
青 (B) 系の色相



緑 (G) 系の色相



青緑 (BG) 系の色相



凡例	外壁 「推奨色」範囲		「避けるべき色」 の範囲		※上のパレットでは各基本色 の色相5のみを掲載しています。
	屋根 「推奨色」範囲		※いずれにも該当しない色に ついてはアクセント色として の使用が可能		

一の坂川周辺地区

◇色彩の現況と色彩の選び方のポイント

自然の色

川沿いの緑や季節毎に咲く花々等の自然の色と調和し、かつそれらを引き立てるような落ち着いた色彩を建物に用いることがポイントです。



5GY8/6

5GY5/4

10Y3/1



10Y9/6

5GY4/4

5R9/1.5



5B9/2

5GY6/6

5YR9/1

特徴的な景観を構成する色（建築物・工作物等）

古くからのまちなみを形成する建物は、濃い茶系や無彩色に近い色を基調とし、どれも風格のあるものとなっています。彩度・明度ともに低い色を基調色とすると重厚感が演出できます。また、外壁は、基調色と明度の少し高めのアクセント色とを組み合わせることで、暗すぎない印象となります。



5R3/1

N6

10YR5/4



5YR5/2

N9

N4



5YR3/2

N8

5YR6/4

周辺景観と調和している色（建築物・工作物等）

色彩の調和を図る上では、伝統的な様式の建築物に関わらず、風土色と合わせることが重要です。植栽を積極的に配置したり、木や土、石などの自然素材を用いることも調和のポイントです。



10Y5/1

5R6/1.5

5R6/1.5



10Y8/2.5

10Y7/0.5

10R3/3



5GY5/0.5

10Y8/1

5GY2/0.5

◇推奨色の設定

外壁は、自然となじむ、赤、黄赤の低彩度、地区内で多く用いられている黄の高明度・低彩度の範囲とし、屋根は同色相の低彩度・低明度の範囲を推奨色とします。

下の色見本は、推奨色の中から本地区の景観形成にふさわしい色相の一例を紹介しているものです。

外壁の推奨色

外壁及び工作物外観の各面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



屋根の推奨色

屋根の面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



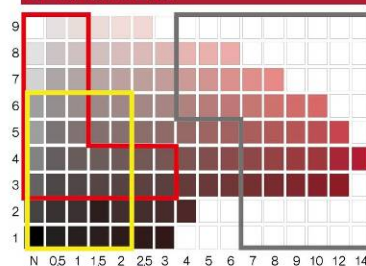
アクセント色の推奨色

外壁・屋根・工作物外観の各面の1/5未満で用いるアクセント色の推奨色です。

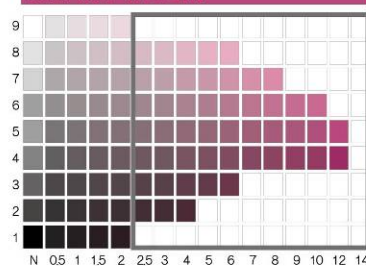


◇色相別の推奨色等範囲のイメージ

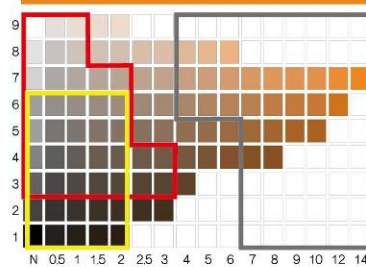
赤 (R) 系の色相



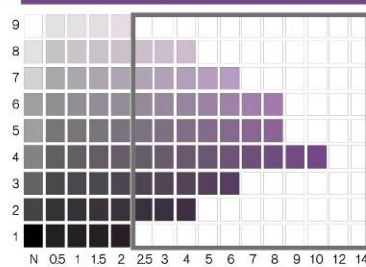
赤紫 (RP) 系の色相



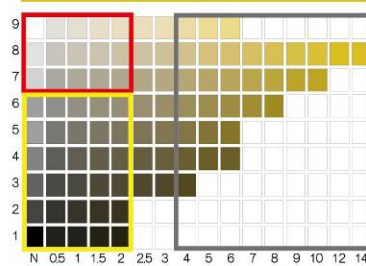
黄赤 (YR) 系の色相



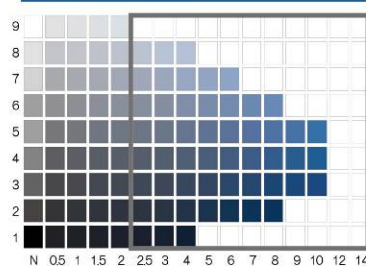
紫 (P) 系の色相



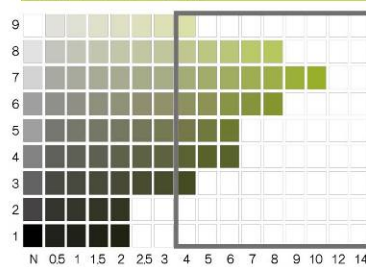
黄 (Y) 系の色相



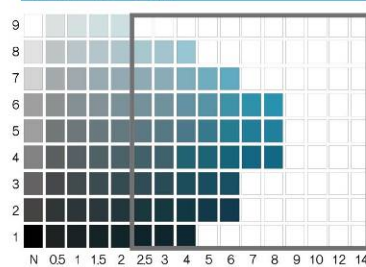
青紫 (PB) 系の色相



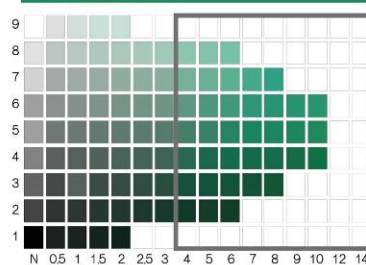
黄緑 (GY) 系の色相



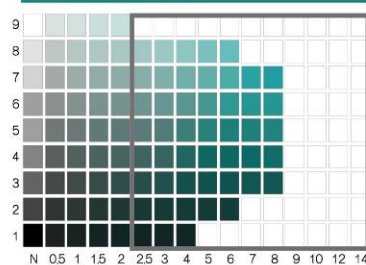
青 (B) 系の色相



緑 (G) 系の色相



青緑 (BG) 系の色相



凡例	外壁 「推奨色」範囲		「避けるべき色」 の範囲		※上のパレット では各基本色 の色相5のみ を掲載してい ます。
	屋根 「推奨色」範囲		※いずれにも該当しない色に ついてはアクセント色とし ての使用が可能		

新山口駅周辺地区

◇色彩の現況と色彩の選び方のポイント

自然の色

遠景の山並みなど、多彩な緑の色彩を阻害しないよう、落ち着いた基調色を用いることがポイントです。



10GY3/6

10Y8/1

10R3/3



10GY4/5

10Y2/1

N9

商業系景観を構成する色（建築物・工作物等）

商業系のまちなみは、低層部分のにぎわいを演出することが重要ですが、明度の高い色彩はポイントとして使用する程度とし、街路樹や通り全体の雰囲気との調和と魅力向上に配慮しましょう。



10YR8/4

10GY6/2.5

5GY9/0.5



10GY3/6

N8

10GY8/1.5

周辺景観と調和している色（建築物・工作物等）

「鉄道のまち」として発展してきた小郡地域のシンボルである新山口駅や、これから形成される新たな市街地の建築物である山口市産業交流拠点施設などに使われている色彩を用いることで、周囲の景観との調和が図られます。



10GY4/5

10B6/5

N9



N6

5GY6/6

N9

◇推奨色の設定

外壁は、自然の色と既存市街地の色のどちらにもなじみやすい、赤、黄赤の色相の低中彩度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲とし、屋根は赤、黄赤の低中彩度・低明度、黄、黄緑の低彩度・低明度の範囲を推奨色とします。

下の色見本は、推奨色の中から本地区の景観形成にふさわしい色相の一例を紹介しているものです。

外壁の推奨色

外壁及び工作物外観の各面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。



屋根の推奨色

屋根の面の4/5以上を占める基調色の推奨色です。

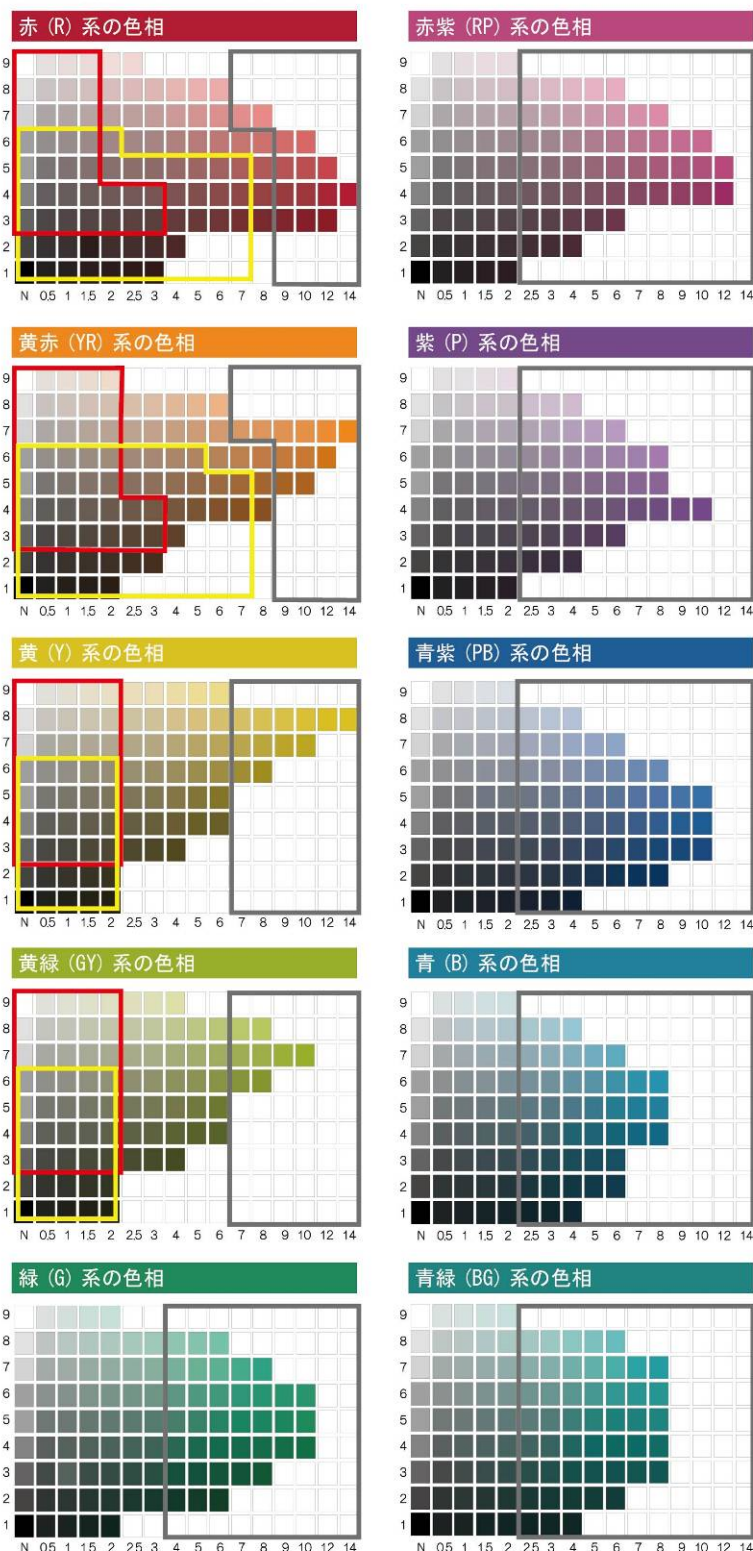


アクセント色の推奨色

外壁・屋根・工作物外観の各面の1/5未満で用いるアクセント色の推奨色です。



◇色相別の推奨色等範囲のイメージ



凡例	外壁 「推奨色」範囲		「避けるべき色」 の範囲		※上のパレット では各基本色 の色相5のみ を掲載してい ます。
	屋根 「推奨色」範囲		※いづれにも該当しない色に ついてはアクセント色とし ての使用が可能		